

株式会社 上滝

企業概要



《企業紹介》

代表者	代表取締役 上滝 満
本社所在地	長崎市新地町5番17号
設立	昭和27年
従業員数	145名

企業の事業について

時代に対応できる画期的な建築を目指す“建築部門”、「人間のための環境づくり」を活動のベースとする“土木部門”、未来に向かって海を拓く“海洋部門”の3部門の施工を行なっています。

インターンシップ実施日程

令和3年8月16日～8月20日（5日間）

研修内容

- 初日…会社概要・仕事内容説明
- 2日目…自己紹介資料作成・発表、積算業務紹介・説明
- 3日目、4日目…リモート現場見学、若手職員への質問
現場での説明・作業見学・補助
- 5日目…振り返りワーク



当社は現場実習以外にもワークや若手社員との交流の場など今後の就職活動に役立つ研修に力を入れております。
業種理解だけではなく、自己分析やコミュニケーション能力の強化に役立てて頂ければと思っております。

インターンシップ担当
松下 大輝さん

インターンシップ実習生

Profile

長崎市出身。大学では工学科社会環境デザイン工学コースで土木を専門に勉強中。2年生の余裕のあるうちに、将来何をしたいか考えたいと思い、インターンシップに参加したしっかり者の学生さん。漫画を読むのが好きで、休日は1日漫画を読んで過ごすことも。



長崎大学工学部 2年生
田川 舞さん

Q. インターンシップに参加しようと思ったきっかけは何ですか？



私は土木を専門で学んでいて、将来は勉強した技術や知識が活かせる業界への就職を希望しています。上滝さんは一般土木や港湾、建築など幅広い事業をされているとお聞きしたので、インターンシップに参加することで進路を考える参考になると思い、志望しました。



Q. インターンシップに参加するときに何を意識して取り組みましたか？

私がインターンシップに参加する目的が建設業界がどんなものかを知ることだったので、インターンシップを通して、自分の目的を明確にすることを意識して、五日間参加させていただきました。



実習生インタビュー②

Q. 先輩社員さんからの具体的なアドバイスはありましたか？



私は土木の知識しかありませんでしたが、年の近い建築部の先輩に建築について説明していただきました。一番印象に残ったのが、「土木分野・建築分野のどちらに行っても両方の知識が必要だから、両方の勉強をしていた方がよいよ」というお話で、今後の参考になりました。

Q. インターンシップで一番印象に残っていることは何ですか？



一番印象に残っているのは現場見学です。現場によって雰囲気や全く違い、工期が近い現場ではすごく慌ただしくされているなど、生の現場を肌で感じることができました。また、実際の大雨で地すべりが起きた箇所を見せていただき、地すべりは設計の時点からしっかりとしておくことで防ぐことが大事という話をされていて印象に残りました。



Q. 今後インターンシップに参加する学生にアドバイスをお願いします！



疑問に思ったことはノートに書いておくなど、質問したいことを事前に考えておくことで、より自分が知りたいことを先輩社員さんに聞くことができると思いました。実際に企業の方と話すことでイメージが変わることもあるので、是非皆さんも機会があれば参加してみてください！